

国鉄1047名解雇撤回! 民営化・非正規職化を許すな!

たたかう労働組合の全国ネットワークをつくろう!

《呼びかけ》

- ◆全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部
- ◆全国金属機械労働組合港合同
- ◆国鉄千葉動力車労働組合
- ◆国鉄分割・民営化に反対し、
1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動

沖縄米軍基地撤去! 改憲と戦争をとめよう!

全国労働者総決起集会

東京・日比谷野外大音楽堂

11月7日(日) 正午開会 集会後デモ行進

11.7

2010

改憲・戦争と民営化・労組破壊にたち向かう労働者の国際的団結を!



国鉄分割・民営化（1987）は戦後最大の労働運動解体攻撃でした。ここから民営化・規制緩和の流れが始まり、1千万人をこす労働者が非正規職、ワーキングプアに突き落とされました。「国鉄民営化で国労をつぶし、総評・社会党を解体し、立派な新憲法を安置する」。これが支配者の「コース」でした。この攻撃に頑強に抵抗してきた国鉄労働者の闘いは、新自由主義に対する決定的な対抗力であり、戦後労働運動の中で画期的な意味をもつものでした。

新自由主義政策はこの30年余り、労働者の雇用や賃金、権利、社会保障制度、教育、医療、地方自治、農業などを破壊して吹き荒れました。その過程で生み出されたのは、「世界の労働人口の6割にあたる18億人が正当な労働契約も、社会保障もない奴隷的労働に従事している」（OECD）という現実です。

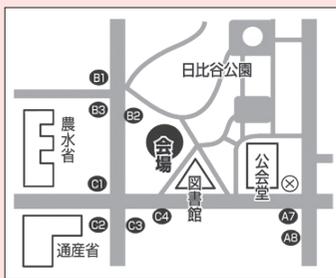
しかし民主党・菅政権は、財政危機を口実として、公務員労働者への全面的攻撃を行なおうとしています。360万人の公務員労働者を一旦解雇し、民営化した事業所等に選別再雇用するという究極の民営化・

労組破壊攻撃が始まろうとしています。それと一体で、沖縄米軍基地と日米安保体制の強化、改憲と戦争に向けた政治反動が進み、国家主義や排外主義が煽りたてられています。今、国鉄闘争に終止符を打とうとする背後にあるのは、こうした新たな攻撃です。

恐慌が世界をのみ込んで進行する中で、失業と貧困が拡大し、巨額の財政投入による国家財政の破綻がさらなる労働者への攻撃となつて襲いかかっています。しかしギリシヤをはじめ世界中でストライキやデモの嵐が轟いています。沖縄では基地撤去に向けた怒りの声が燃え上がっています。変質と屈服を深める既成の労働組合の支配に抗して現場からの怒りの声が噴出し、労働運動の新しい潮流が生まれ出ようとしています。

三つのことを訴えます。第一に、全労働者の権利と未来のために、労働運動復権に向けた最大の課題として「国鉄闘争全国運動」を全国の職場・地域に広げることです。第二に、全労働者に対して一方で首切り・賃下げ・外注化・非正規職化の攻撃が、他方で改憲と戦争の危機が襲いかかっている現実に対し、正規・非正規、官・民の分断を打破して職場から闘いをつくりあげることです。派遣法・非正規職撤廃、改憲・安保・政治反動に反対する怒りの声を総結集させよう。第三に、労働者の国際連帯をさらに大きく発展させることです。

労働者の団結した闘いこそが歴史をつくり、社会を変革する力です。団結を取り戻し、労働組合を甦らせよう。自らのもつ力と可能性を自覚し、誇りを取り戻そう。



■日比谷公園・野外大音楽堂への行き方
都営地下鉄三田線「内幸町」駅A7～8出口／東京メトロ「霞ヶ関」駅4B1～3、C1～4出口